



VIVID

一高生カラーを鮮やかに表現しよう!
全てを賭けて描く 自分にしか出せない色で



「一番おいしかった食べ物は？」

PTA会長 山本 栄喜

よくこんなことを聞かれる。30年以上変わることなく、これからも変わることはないと思う。

白い発泡スチロールの容器に入った熱々の塩にぎり、そして石油ストーブの上の鍋で温めてあったコーヒー牛乳。夜通し歩いて疲れていた体が塩分と糖分を一気に吸収した。10月ということもあり、新米を羽釜で炊いたご飯だったのかもしれない。しかし一番重要な調味料は、おばあちゃんと協力者たちの「心」だと思う。

答えは「白田で食べた塩むすびとコーヒー牛乳」

この体験は私の高校生活の中で一番の思い出でもある。そして再現することはできない貴重な体験でもある。

コロナ禍で限られた生活を強いられている現状ですが、在校生のみなさんぜひ、生涯忘れることのない思い出を残せるよう、一高生活を満喫してください。

保護者の皆様、昨年に続き本年も強行遠足は県内コースとなりました。先生、同窓会、そして地域の方々と力を合わせて成功させましょう。よろしくおねがいします。



逆境力

校長 小林俊一郎

未だ収束を見ないコロナ禍の厳しい状況の中、甲府一高生の「逆境力」、つまり困難に直面した時にどう考え行動するかという力を目の当たりにすることができたことは、嬉しい限りである。

まず、今年3月に卒業した生徒達の力に感服した。パンデミックにより想像以上に大きな心理的負担を強いられた中で、一高の記録史上最高と言っても過言ではない進学実績を挙げたことは、一高に関わる全ての人に大きな励みとなったはずである。さらに、6月20日から行われた一高祭で、在校生の力にも大きな感銘を受けた。昨年度は中止せざるを得なかった一高祭を何とかして自分たちの手に取り戻そうと、生徒たちが新しい形を模索しながら、ようやく開催にこぎつけた3日間であった。特に2日目の会場YCC文化ホールでは、使用に厳しい制約が課され、学園祭という場で本当にこの厳しい条件に対応できるのかという不安もあった。しかし、728名の結束力は素晴らしかった。これほど多くの人数が自分たちの一高祭を守るために団結して発表会を成功させた。それは見事というしかない。今後も一高が、逆境を乗り越える力を養う学びの場であり続けることを、願ってやまない。

いっしょに育てていきたいから。

PTA副会長 3学年委員長 佐藤 康幸

小中高と約15年に渡り携わってきたPTA役員の最終年に、伝統ある一高の副会長という大役を光栄に思います。ただ偏に「伝統」と言うは易いですが、時代の進化に伴い考え方が変化してきている現代社会に於いて、これを継承する事の難しさを色々な場面で感じる今日この頃。

コロナ禍で「当たり前」である事の大切さと難しさに改めて気付かされましたが、当たり前で居られるというその裏には、汗を流している(努力・尽力・協力する)人達の存在が有る事を忘れてはいけません。今を生き、今に学び、時を経て気付く各々の心の中に刻まれた「古き良き時代」を、いつまでも継いで行って欲しいです。

PTA副会長 2学年委員長 小沢 忠雄

まだまだ、コロナが収束せず、不安な日々を送っている中、私は、5月に行われた応援團吹奏楽部第62回定期演奏会に足を運びました。生徒達がアイデアを凝らして、準備を担当する人、演奏をする人、全員がひかり輝き会場全体が1つにまとまり、とても居心地の良い素晴らしい演奏会でした。こんな時代ですが、工夫を凝らして、自分たちの新様式を探究し、つくり出す一高生は、本当に凄い、凄過ぎです。これからも、その足を止めず、一步一步前に進み、物事を探究し続ける生徒であって欲しいと思っています。頑張れ一高生。

PTA副会長 1学年委員長 降矢 賢之

娘が甲府一高に入学して2カ月が経ちました。PTA役員として思い入れのある母校に携わる事が出来ることを嬉しく感じています。

今はかつてない状況の真っ只中。これまでと違う日常の中で、どんな事が起きていてどんな考え方が生まれているのか、体感する機会を子供達は得ていると思います。何が正しく何が間違っているのか迷う時もありますが、子供達があるべき姿を見失わず、自分の力で流れを見つけ、それに上手に乗って目指す地に向かっていけるよう願っています。先生方と保護者、お互いに協力しながら、精一杯応援していきましょう。



生徒自治会会長 長田 大和

鮮やかに輝いた3日間。「VIVID」というタイトルのもと、私たちは、それぞれの個性を1つの「色彩(カラー)」とし、第74回一高祭を彩った。2年ぶりの開催となった、今年の一高祭。昨年は幻の「第73回」となり、3年生にとっては2年ぶり、1・2年生にとっては初めての経験だった。期待に胸を膨らませながらも、同時に新型コロナウイルス感染症に対する不安があったことと思う。私はこのような状況下でも最後まで行うことができたことに感謝するとともに、そこで生まれた笑顔や思い出は、忘れることなく鮮明に記憶に残るだろうと確信した。

一高祭実行委員長 廣瀬 健太

『VIVID』今年の一高祭を一言で振り返るなら、私はやはりこの言葉を選ぶ。この3日間、私は一高生の色鮮やかな笑顔をたくさん見ることができた。マスクをしていてもわかるあの楽しそうな雰囲気は忘れられない。「楽しくやればいい」担任の窪田先生はいつも私にこの言葉をかけてくださった。一筋縄ではいかないこともあったが、当日ひとつの行事を成し遂げられた楽しさは一生の思い出となった。最後にコロナ禍における開催と臨機応変な運営をしてくださった生徒自治会や先生方に感謝したいと思う。最高の一高祭をありがとう!

コロナ禍でのPTA活動

総務広報主任 内藤 浩

4月のPTA活動は、4月16日(金)のPTA会計監査と後援会会計監査、後援会理事会、PTA正副会長会議に始まり、23日(金)のクラス・学年・学校PTA委員会までは行うことができましたが、30日(金)の学校・学年・クラスPTA総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止せざるを得ませんでした。また、5月24日(月)の高P連第1回理事会は開催されましたが、28日(金)の高P連定期総会は書面決議になりました。大人数で集まることができない状況が続く中でどのようにPTA活動を行っていくかが問われていますが、まずは、保護者の皆様方の健康が一番です。

<http://www.first.kai.ed.jp/>

一高ホームページは、保護者向けのサイトも充実!!
保護者向けに発行している便り、学校ホームページでも閲覧できます。
学校行事や生徒会活動、トピックスなどの情報が盛りだくさん!!
ぜひご覧ください。一高の「今」を実感していただけます。

携帯電話からは、右のQRコードよりアクセス!!



甲府第一高等学校PTAだより **We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL. 1st 2021 July**

発行◎山梨県立甲府第一高等学校PTA
〒400-0007 山梨県甲府市美咲2丁目13-44 tel.055-253-3525 fax.055-253-3527
発行日◎令和3年7月20日
編集◎山梨県立甲府第一高等学校PTA広報委員・総務広報係